

# 第9学年 学びの 카테고리 「社会に生きる」



9年生は、「社会に生きる」をテーマに探究するために、8年生の2月から、自分たちがどんな未来にしたいのか、どんな未来を生きていきたいのか、どんな未来なら生きやすいのかを考えてきた。その過程で、自分たちのめざすよりよい未来を実現するためには、今の社会が抱える問題や課題を解決していく必要があると考えた。

東京研修では、自分の学びたいテーマについて話を聞いたり体験したりした後ワークショップを行い仲間と考えを交えて、この社会問題をどうすれば解決することができるのかを考えた。

学校に戻ってからは、自分の理想の未来を実現するために解決したい社会問題について調べ、調べた内容や、自分とその社会問題の関わり、今自分たちにできることを学級の仲間に発表した。

夏休みが明けてからは、同じ社会問題を探求する仲間たちとともに、その解決に向けて探究している。社会問題の解決に向けて活動している人や企業に話を聞いたり、実際に解決に向けた活動を行ったりしていく中で、自分たちの解決策を考えまとめていく。



岩崎 英之  
岡本 恭子  
丹下 侑輝  
渡辺 雅己  
今西賀寿真

9年

年間指導計画

「学びの 카테고리」：社会に生きる（全105時間）

第9学年の目標	<p>(1) 問題解決力に関わって 自分の考えについて、多面的多角的に吟味していくなかで、自己の生き方を見つめ、よりよい生き方について探求しようとする。</p> <p>(2) 関係構築力に関わって 仲間や実社会に生きる人の考えを共感的に受け入れ、それぞれの願いや考えを踏まえた上で、相手と協働して納得解や最適解を導こうとすることができるようにする。</p> <p>(3) 貢献する人間性に関わって 社会の様々な事柄や他者の生き方について関心をもち、生き方に触れる過程で、よりよい自己の生き方を見つめようとする態度を養う。</p>											
カテゴリー設定の理由	<p>これまでの学びの中で、徐々に考える場を広げてきた。6年「まちづくり」7年「文化」8年「働く」と自己の生き方に向かっていく中で、自分はどう「生きる」ということを深く考えられるようになってきた。そこで、未来の自分を考える中で、現在や今後の世界が直面する問題について探究し、自分の生き方を見つめ直していきたいと考え、このカテゴリーを設定した。</p>											
学びの基盤となる道徳的諸価値	<p>社会参画、公共の精神・自主、自立・自由と責任・向上心・個性の伸長・真理の探究・思いやり、感謝・相互理解、寛容・公德心・社会正義・勤労・国際理解・自然愛護・よりよく生きる喜び</p>											
学びを構成する要素	<p>社会問題 多様性 環境 人権 教育 科学技術 国際 貧困 子ども 女性 家族 勤労</p>											
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名(時数)	I 「私たちの生きる未来」とは？ (27時間)				<p>主体的に情報を収集し、実行する</p>	II 「未来をどう生きる」 (50時間)			III 「自分の未来をどう生きる」 (28時間)			
主な学習活動	<p>○私たちの生きる未来について考える。 ○「どのような未来に自分たちは生きていきたいか」「そのような未来を実現するためにどのような課題があるか」などについて、仲間との対話を通して考える。 ○自分の探究テーマに合わせて、東京研修の研修先を考える。 ○東京研修で、実際に社会問題に取り組む人や企業と出会い、話を聞き、現場を見ることで現状を踏まえた知識を得る。 ○東京研修で実際に見たり聞いたりしたことをもとに、社会問題に対する当事者の意識や解決策を仲間との対話を通して考える。 ○東京研修の学びを振り返る。</p> <p>○東京での研修を通して学んだことをもとにしながら、個人で探究したいテーマを設定する。 ○個人で設定した社会問題について調べる。 ○調べたことをまとめ、仲間に対してプレゼンテーションする。 ○夏休みの個人探究の計画を立てる。</p>					<p>○夏休みに実施した個人探究の結果を学級内で交流する。 ○これまで個人探究してきたテーマごとにグループングし探究する。 ○ユニセフやゲストティーチャーとの出会いを通して、世界の経済格差による諸問題について学んだり、支援の在り方について知ったりする。そして、様々な支援活動の中から、自分たちの願いを実現できそうな募金活動や物資の支援活動を選択し、実施する。&lt;経済格差&gt; ○岐阜市女性センターの方に出会い、男女の抱える格差について詳しく知り、問題の解決方法について考える。そして、家事分担の格差に着目し、食事作りの負担軽減を目指してレシピや時間を短くする方法について考案し実行する。また、男女の格差にある意識の問題を表面化するために、男女の格差をテーマとしたシナリオを考え、問題についての自己認識力を高める。&lt;男女の格差&gt; ○地球温暖化対策推進員や環境問題に取り組む企業の方と出会い、地球温暖化に対して様々な視点からの対策について学ぶ。そして、今できることと未来でできることを整理し、環境問題の解決策を考える。&lt;環境問題&gt; ○青年海外協力隊で活動されている方や岐阜市障害者支援センターの方と出会い、20年後の未来に誰もが生きやすい社会にするために、今自分たちができることを考え活動する。&lt;共生&gt;</p>	<p>○グループ別で探究してきたことや、自分たちの社会問題に対する解決策を考えまとめる。 ○グループごとにまとめたことを大学の講堂で、外部の人たちにプレゼンテーションする。 ○探究を通して学んだことを振り返り、「自分の生き方」について自分の考えをもつ。 ○「自分の生き方」をまとめ、後輩に決意を語る。</p>					
想定される ●ジレンマ ●エラー 【道徳的諸価値】	<p>■未来へのとらえが広がって、考えることができない。 ■自分の願いと現実的な状況が重ならない。 ■理想的な未来を実現するときに課題となる問題が考えられない。 ●自分の願いと社会の求める方向性が一致しない。 ●問題を解決しようと考えたと、別の問題が同時に出てくる。 【 相互理解、寛容 社会参画 公共の精神 自然愛護 よりよく生きるなど 】</p>					<p>●労働時間を延ばせるようになれば男女の収入の格差はなくなるけれど、家事や育児のことを考えると単純に労働時間を延ばせない。 ■ユニセフの活動を詳しく知ること、募金活動の意味や意義について知ることができたり、実際に協力することもできたことは嬉しいけれど、現地に自分が行った訳でもないで、正直あまり実感がわかない。 ■私たちの中に根本的に貧困地域への「かわいそうだから」とか「してあげたい」という自分たちを優位に捉えた考え方があるように感じてもしかかった。私たちが「とは、支援ではなく援助なのかもしれない。 【 相互理解、寛容 社会参画 公共の精神 国際理解 自然愛護 よりよく生きるなど 】</p>	<p>■探究してきたことから、自分の生き方を考えたけれど、その生き方を実際に歩んでいくことができるか不安だ。 ■自分の考えた生き方をしていくためには、まだまだついでいかなければならぬ力がたくさんあるな。 【よりよく生きる】</p>					
人材活用 施設	<p>(東京研修先) ・Ridilover (ゴミ問題 フェアトレード 介助犬 異文化交流 育児とキャリア 障害者雇用) ・清水群さん ・野田岳仁先生 (法政大学教授) ・一般財団法人 メタバース推進協議会</p>					<p>・ユニセフ ・塚本杏奈さん (京都大学学生) ・イダマルコダ ハルカ・アミラさん (東京大学院生) ・岐阜市女性センター ・JICA海外協力隊員 出町卓也さん</p>	<p>・他のテーマを探究している仲間 ・後輩</p>					
教科等との関連	<p>・国語：聞き上手になろう～質問で思いや考えを引き出す～ ・社会：日本の地域的特徴と地域区分(人口、産業、交通、通信) ・数学：データの分析 データの比較と箱ひげ図 確率 標本調査</p>				<p>・国語：立場を尊重して話し合おう～討論で多角的に検討する～ ・社会：日本の地域課題 ・数学：データの分析 データの比較と箱ひげ図 確率 標本調査 ・音楽：日本の伝統芸能</p>	<p>・国語：国語の学びを振り返ろう ～テーマを決めて話し合い、壁新聞をつくる～ ・社会：開国と近代日本の歩み(産業革命と資本主義)</p>						

9年生 単元シート (9年1組教室)		本単元の目標		
		問題解決力	関係構築力	貢献する人間性
<b>単元名</b> 未来をどう生きる ～経済格差による苦しみのない未来を願って～ (50)		問題を多面的多角的な見方で調べたり考えたりしていく中で、問題の本質を理解した上で、新たな課題を設定し追究したり、自分自身にできることを考え行動したりすることができるようにする。	異なる立場、異なる考え方をもつ他者のことを認め理解することができるようにする。	社会問題の解決に向けて、他者と協力し調べたり考えたりしていく中で、自分が周りの人の努力や工夫に支えられていることに気付くことができる。その上で、社会の一員として社会問題に対する解決策について考え実行しようとする態度を養う。
<b>活動の計画</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○テーマ別に分かれ、今後の活動の見通しをもつ。</li> <li>○経済格差によって生じる諸問題について考え、SDGsの観点と関わらせながら自分たちが解決の一助となれる問題について考える。(5)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○テーマごとに活動を行う。</li> <li>○ユニセフの方との出会いから、世界の経済格差による諸問題について学んだり、支援の在り方について知ったりする。</li> <li>○様々な支援活動の中から、自分たちの願いを実現できそうな募金活動や物資の支援活動を選択し、実施する。</li> <li>○子ども食堂を運営している方との出会いから、日本の現状について学ぶ。</li> <li>○子ども食堂の運営ボランティアに参加する。(10)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○経済格差による諸問題の現状について、多くの人に発信していくことが問題解決に向けて自分たちにできることであるという目的を明確にし、プレゼンテーションを作る。</li> <li>○より緊迫感を生み、見ている相手の心に響くプレゼンテーションになるよう、映画「存在のない子供たち」からセリフを抜粋するなど試行錯誤してプレゼンテーションを作り上げる。</li> <li>○実際に経済格差の諸問題解決に向けて学び、行動している先輩方との出会いを通し、問題を自分ごととして捉えられるようにする。(25)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○岐阜大学講堂において、テーマ別発表会を行う。</li> <li>○見た人たちの意見や感想を通して自分たちの行動によってどのような影響を与えることができたか確かめる。</li> <li>○自分が願う未来についてもう一度考え、そのためにどんな生き方をしていきたいのかを明らかにする。(10)</li> </ul>
<b>加筆修正欄</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○経済格差による貧困が生じるメカニズムについて学ぶ。</li> <li>○経済格差によって生じる不平等や苦しみは多種多様であることを知り、支援の在り方も変わってくることを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本の経済格差にまで目が向かない。</li> <li>○世界の現状に関わる知識を得ることで、この現状をより多くの人に広めていく活動の必要性を感じ、実行していくこととした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○プレゼンテーションを街頭募金活動でも活用していく。</li> </ul>	
<b>想定される姿</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学びで、自分なりの解決策を考えてきた。さらにテーマを掘り下げて考えていくことができるようにしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちのテーマにおいてできる活動にどんどん挑戦していきたい。</li> <li>・貧困によって様々な問題に苦しむ人々に対して「なんとかしたい」という思いが強くなった。この現状を多くの人に発信していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・根本的な解決に向けてできることは何か、今はできないかもしれないけれど、将来的にできることを考え、プレゼンテーションを通して訴えかけていってはどうだろうか。</li> <li>・私たち一人一人の力は小さくて無力かもしれない。でも、何もしないよりも何か自分にできることをしようと一歩踏み出すことで未来はきっと変わる。だから、行動することが大切なんだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな問題も決して対岸の火事ではなく、私たちの国や身近に起こり得る。だからこそ普段から様々な問題を自分ごととして捉え、自分にできることをしようと一歩踏み出して行動していくことが、幸せな未来を築いていくことに繋がっていくのではないだろうか。</li> </ul>
<b>実際の姿</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで自分自身も世界がこんな状況にあることを知らなかった。私たちにできることなどないのではないだろうか。</li> <li>・かわいそうと思うのは失礼ではないか。</li> </ul>		
<b>エッセイ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ユニセフの活動を詳しく知ることで、募金活動の意味や意義について知ることができたと、実際に協力することもできたことは嬉しいけれど、現地に自分が行った訳でもないので、正直あまり実感がわかない。</li> <li>■私たちの中に根本的に貧困地域への「かわいそうだから」とか「してあげたい」という自分たちを優位に捉えた考え方があるように感じてもどかしかった。私たちがしていることは、支援ではなく援助なのかもしれない。■「かわいそう」という言葉は相手に失礼なのではないか。</li> </ul>			



9年生 本時案 (9年1組教室)

(1) 目標

経済格差による諸問題について、他者と協力して調べたり考えを発信したりすることを通して、実際に社会の一員として行動を起こした先輩方の話をもとに、自分を客観的に見つけ、社会問題に対する解決策や支援策について主体的に考え、実行しようとする事ができる。(貢献する人間性)

(2) 道徳的価値判断に関わって

社会問題を自分ごととしてとらえ、自分が生きている身の回りを含めた社会に関わることの意義を理解し、主体的に社会に参画していこうとする意識や具体的な目標を考える。(社会参画)

本時 (25/50)

活動内容 (○教師の発問 ・予想される児童生徒の発言)	○教師の手立てと見届け
<p><b>1 これまでの活動を通して完成させた経済格差に関するプレゼンテーションを発表する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の貧困の実態について調べ、実際に自分たちが行った募金活動や子ども食堂での経験をもとにまとめたプレゼンテーションを通して、より多くの人に経済格差の諸問題について知ってもらい、考えてもらう機会にしたい。</li> <li>自分たちのプレゼンテーションを、経済格差の諸問題解決に向けて学び、行動している人たちに見ていただき、アドバイスしていただきたい。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>経済格差の諸問題解決に向けて取り組んでいる先輩方からアドバイスをもらい、よりよいプレゼンテーションになるよう考えよう。</p> </div> <p><b>2 社会の一員として経済格差の諸問題解決に向けて取り組んでいる人々との対話を通して考える</b></p> <p>○経済格差のない誰もが平等に幸せに生きられる未来を築いていきたいというみんなの強い思いから始まった活動だったけれど、これまでの活動を通してその思いに変化はありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ユニセフの活動を詳しく知ること、募金活動の意味や意義について知ることができ、実際に協力することもできたことは嬉しいけれど、現地に自分が行った訳でもない、正直あまり実感がわかない。</li> <li>私たちの中に根本的に貧困地域への「かわいそうだから」とか「してあげたい」という自分たちを優位に捉えた考え方があるように感じてもしかかった。私たちがしていることに意味はあるのだろうか。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>【京都大学生 Tさん】・世界の食糧問題と環境問題について学習中 先進国の大量消費社会を賄うために、輸出用の作物を生産し自身が食糧難に陥っている農民の実態について研究中</p> <p>【東京大学出身 Aさん】・日本国内の経済格差による教育格差について研究し、サポート組織の立ち上げを目指す社会人</p> <p>【東京大学院生 Rさん】・日本で生まれ育ったがスリランカの国籍をもち、実際に現地に足を運びながら経済格差の問題を研究中</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>プレゼンテーションに対してどのような感想をもちましたか。アドバイスはありますか。</li> <li>なぜこのような社会問題について学び、行動しようと思ったのですか。</li> <li>自分がやっていることが、実際に社会問題解決に繋がっているのを実感することはありますか。</li> <li>今後の人生の展望はどのようなものですか。</li> </ul> </div> </div> <p><b>3 今後の自分たちに必要な考え方やプレゼンテーションに追加したい視点について議論する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>私たち一人一人の力は小さくて無力かもしれない。でも、何もしないよりも何か自分のできることをしようとして一歩踏み出すことで未来はきっと変わる。だから、行動することが大切なんだ。</li> <li>自分のできることは何か、今はできないかもしれないけれど、将来的にできることを考え、プレゼンテーションを通して訴えかけていってはどうだろうか。</li> </ul> <p><b>4 本時の学びの振り返りをワークシートに書く</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経済格差による諸問題は決して対岸の火事ではなく、私たちの国においても起こりかねない。また、貧困ではなく災害など多くの問題に直面することもあるだろう。そんな情事の時こそ、国と国、人と人がお互いに支えあっていくことが重要になってくる。だからこそ普段から様々な問題を自分ごととして捉え、自分のできることをしようと思える人になっていくことが、私たちの願う未来を築いていくことに繋がっていくのではないだろうか。</li> </ul>	<p>○経済格差による諸問題の現状について、多くの人に発信していくことが問題解決に向けて自分たちにできることであるという目的からプレゼンテーションを作成する。より緊迫感を生み、見ている相手の心に響くプレゼンテーションになるよう、映画「存在のない子供たち」から抜粋したセリフを扱うなど、内容や伝え方を試行錯誤して作り上げる。プレゼンテーションは、街頭募金の活動時に岐阜駅前で発表している。</p> <p>○「<u>経済格差による苦しみのない未来を築くために、自分のできることは何か考え行動しよう。</u>」を単元を通じた課題として設定し、毎時活動終了時に、その課題に立ち返って自分たちの活動を振り返りワークシートに記入できるようにする。その内容から生徒の心境の細かい変化を捉え、客観的に自分を見つめたことで生まれたエラーを表出させるようにする。</p> <p>○世界の経済格差による不平等解決に向けて行動する人々との出会いの場を設け、生徒たちの中に生まれたエラーに寄り添った内容を対話していくことで、社会問題を自分ごととして捉え、新たな視点や気づきを引き出すことができるようにする。また、社会問題を自分ごととしてとらえ、行動することの価値に気付くことで、今後の自分自身の生き方について見つめられるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>目標に迫った姿をどのように見届けるか</b></p> <p>先輩方と対話したことをもとに、自分を客観的に見つけ、社会問題に対する解決策や支援策について主体的に考え、自分の意見を主張したり、新たな視点で発信することができるようプレゼンテーションを考えたりしている。(貢献する人間性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先輩方との対話や仲間との議論における発言の様子やワークシートの記述から見届ける。</li> </ul> </div>

9年生 単元シート (9年3組教室)		本単元の目標		
		問題解決力	関係構築力	貢献する人間性
<b>単元名</b> 未来をどう生きる (50)		問題を多面的多角的な見方で調べたり考えたりしていく中で、問題の本質を理解した上で、新たな課題を設定し追究したり、自分自身にできることを考え行動したりすることができるようにする。	異なる立場、異なる考え方をもつ他者のことを認め理解することができるようにする。	社会問題の解決に向けて、他者と協力し調べたり考えたりしていく中で、自分が周りの人の努力や工夫に支えられていることに気付くことができる。その上で、社会の一員として社会問題に対する解決策について考え実行しようとする態度を養う。
<b>活動の計画</b>	○テーマ別に分かれ、今後の活動の見通しをもつ。 (5) ・男女(雇用と家庭生活)のチームでは、どのような問題に向き合っていくか考える。 ・男女の間にある差別、格差→男女の間にある不当な格差をどうするべきか考えていく。	○テーマごとに活動を行う。 (10) ・男女の間にある不当な格差として、家事分担の差をうめる方法を実行する。家事において負担が大きいのは、食事関係であることに気づき、どのようにすれば負担が軽減し、両性共に平等に分担することができるか考え、各家庭で考えたことを実行する。	○テーマを題材としたシナリオを作り、社会問題について考える。 (25) ・シナリオは1シーンを描く。 ・ストーリーを生徒と共に作り上げる。 ・考える中で、どのような問題があるのか深く実感していく。 ・表現する中で、セリフや立ち回りを考え、さらに実感を伴うようになる。 ・シナリオを発表することを通して、別のチームと共に社会問題を考える。	○考えたことをまとめ、発表会を行う。 (10) ・岐阜大学の講堂で行う。 ・岐阜大学の教授や学生を招待し、自分たちの感じた社会問題の構造や問題点、考えを発表する。 ・意見や感想をいただき、自分たちの発表を振り返る。
<b>加筆修正欄</b>				
<b>想定される姿</b>	・これまでの学びで、自分なりの解決策を考えてきた。さらにテーマを掘り下げて考えていくことができるようにしたい。	・問題を深く理解するために、自分たちのできる解決策を考えて実行した。まだまだ考えていけないといけなことが増えた。どうすればいいか考えていきたい。	・シナリオを書くには、実際の問題を深く理解していないと、表現することができない。直接問題に関わっている人に話を聞いてみたい。	・考えてきたことを発表することで、自分の考えをまとめることができた。感想や意見をもらったことによって、新しい視点が増えた。これからの生き方を考えていきたい。
<b>実際の姿</b>				
<b>■エッセンス</b>	●フルタイムで全員が働こうとすると、家庭生活の維持が困難になる。しかし、フルタイムで働かなければ、生活の維持が難しい。 ●生活の維持が難しいと、一方が家事負担の割合が増える。その増えた負担を担う役割を女性が負担する現状がある。 ■問題を考える中で、実感することが難しい。どのように実感していくといいかわからない。			

9年生 本時案 (9年3組教室)

(1) 目標

発言の根底にある考え方を理解する活動を通して、これまでの活動や経験で得た考えを基に、多面的多角的に考えることができる。(問題解決力)

(2) 道徳的価値判断に関わって

男女それぞれの価値観の根底にある考え方について理解し、異性へのお互いの見方考え方を議論する。(友情、信頼)

本時 (25/50)

活動内容 (○教師の発問 ・ 予想される児童生徒の発言)	○教師の手立てと見届け
<p><b>1 これまでの活動を振り返り、本時の授業の目標を共有する</b>            ○「私は私の生きたいように生きる」という花子さんのセリフの背景にある考え方と、それを言われた太郎くんの戸惑いの背景にある考え方を理解し、シナリオを真に迫ったものにしよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>セリフの背景にある登場人物の考えを理解しよう。</p> </div> <p><b>2 地の文を考える</b>            ・「私の生きたいように生きる」ことが難しいと考える世の中にある考え方や慣習などを踏まえる。            ・当たり前ではあるけれど、それができないのはなぜか考える。            ・言われた側の太郎くんの戸惑いにある考えについて自分の考えをもつ。            ・この後、どのような困難が花子さんに起こりえるか考える。</p> <p><b>3 発言を捉え、その背景にある差別意識の根源を考える</b>            ・男の立場から考えると、生きたいように生きることができるとは当たり前だと考えていたけれど、現状難しさがあると考えた。            ・女の立場から考えると、生きたいように生きることが当たり前だけれど、慣習や慣例によって、ゆるやかな強制を求められることがある。そうしたことから生き方が縛られ、生きたいように生きることが難しい現実がある。そうした考え方から自由になるにはどうすればいいか。</p> <p><b>4 ゲストティーチャーの意見を聞く</b>            ・強い意志で、自分の考えを貫き通すことには難しさがある。現実との折り合いをどのようにつけていくかが重要である。周りの理解を得るためにはどうすればいいか考えてほしい。</p> <p><b>5 仲間と交流し、自分の考えを深める</b>            ・起こりうることとして、どのようなことがあるか考えていく中で、自分以外の考え方を知ることができた。周りの意見で自分も考えを変えることがある。自分の生き方を強くもち、それを周りの人と理解調整しながら進んでいくことが重要だと考えた。</p> <p><b>6 本時の学びの振り返りをワークシートに書く</b>            ・シナリオの地の文を考える中で、発言の裏にある考え方の根底を理解することができた。自分たちにも通じる考え方があり、それが他者にどう影響を与えるのかを考えることができた。自分の生き方を貫いていくうえで、周りからの理解を得ることが大切なので、自分の生きたい生き方をしっかり考えることが必要だ。</p>	<p>○これまでの学びを蓄積できるシートを用意する。</p> <p>○今日考えたいセリフについて話し合っておき、意識しながら読むことを指示する。            ○シナリオの進行上、基本的にはセリフのやり取りになるようにする。</p> <p>○自分たちの学びの中で感じたことや、経験談、自分の中にある考え方と比較するよう声をかける。</p> <p>○実際に起こりうる問題について気付くような声かけをお願いする。            ○仲間の考え方を聞き、自分の考え方と共通する部分と相違する部分を整理しながら話し合うよう指示する。特に、相違する部分から、新しい考え方が生まれるような声掛けをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>目標に迫った姿をどのように見届けるか</b>            男女それぞれの考え方からもの見方を考えようとしていたり、自分の経験やこれまでの活動の中からもの見方を考えようとしていたりしている。            (問題解決力)            ・仲間との交流での発言の様子やワークシートの記述から見届ける。</p> </div>